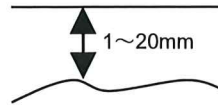


# KIESEL Servoplan Ki 1



- 優れたレベリング性能
- 速乾
- 1~20mm 厚まで対応
- 作業時間約 30 分
- 優れた塗布量
- 塗布 2 時間後に軽歩行可能
- 低エミッション EMICODE EC1 R
- ポンプ可



MADE IN GERMANY

0 分	30 分	2 時間 30 分	12 時間 40 分
作業可能時間*: 約 30 分	軽歩行到達時間*: 塗布後 1.5~2.0 時間	床材施工到達時間*: 塗布後約 12 時間	

## 特徴と用途

ポリマーを含んだセメントベースのレベリング材。屋内用。コンクリート等の下地への塗布が可能。セラミックタイル、天然石をはじめ、弾性床材、パーケットの下地に適。厚さにかかわらず、塗布約 2 時間後には軽歩行が、塗布から約 12 時間後には床材施工が可能。曲げ強度、引っ張強度を上げるために Kiesel fibers additive 添加可能。

## 技術データ

色:	ライトグレー
パッキング:	20kg 入り紙袋
参考塗布量:	約 1.4kg/m <sup>2</sup> (1mm 厚につき)
水の量:	20kg に対し約 4.4~4.8ℓ
混合後の作業可能時間*:	約 30 分
軽歩行到達時間*:	塗布後 1.5~2 時間
床材施工到達時間*:	セラミックタイル: 打設後約 2 時間 カーペット: 打設後約 12 時間 塩ビ、リノリウム: 打設後約 12 時間(~10mm) 塩ビ、リノリウム: 打設後約 24 時間(10~20mm) 天然石: 打設後約 24 時間(~10mm) 天然石: 打設後約 48 時間(10~20mm) コルク、パーケット: 打設後約 24 時間
椅子の車輪に対する適性 DIN EN12529:	適(1mm 厚以上)
圧縮強度 EN13851:	約 35N/mm <sup>2</sup> (28 日後)
曲げ強度 EN13851:	約 6.5N/mm <sup>2</sup> (28 日後)
保管:	湿気を避けてください 6ヶ月
床下暖房:	適(埋設型)
GIS コード TRGS613:	ZP1
EMICODE GEV:	EC1 R

\* 温度 20 度、相対湿度 65% の環境下での数値。高温、低温の場合には、各数値はそれぞれ下がり、低温・高温気の場合には、各数値は、それぞれ上がります。

## 下地

下地は DIN18365 VOB パート C または全ての技術的要求に順じ、床施工が出来る状態にあること。また、下地が十分に乾燥しており、汚れがなく、強く、安定していることを確認して下さい。接着力を弱める恐れがあるので、下地上の汚れ、ペンキ、オイル、ワックス等を完全に除去して下さい。10mm 以上のカルシウム硫酸塩下地には

BEB に基づきグライダーがけを行い、用途に合わせて Okatmos EG20、エポキシ樹脂形プライマ Okapox GF 等でプライマ処理を行ってください。

## 使用用法

作業時間は温度が高くなるにつれ短くなり、低くなるにつれ長くなります。清潔な容器に Servoplan Ki1 と適切な量の水をいれ、電動ミキサー(最大回転数 600 回転/分)でダマがなくなるまで良くかき混ぜます。約 5 分間放置し、再度かき混ぜます。

混ぜ上げたレベリング材 Servoplan Ki1 を専用くし目や専用ローラーで塗布します。

10mm 以上打設する場合には、石英砂(サイズ:0.6~1.2mm)を加えて攪拌することも可能です。(石英砂を混ぜるため、圧縮強度は若干劣ります。)

2 度塗りや補修作業はレベリング材がウェットな状態時に行ってください。レベリング材が乾燥してしまった場合には、プライマ処理をした上で作業を行ってください。

乾燥中(硬化中)は直射日光と通風を避けてください。本作業前に試し塗りを行うことをお勧めします。

## 専用工具

- くし目 Pajarito No.55(約 1mm 厚用)
- くし目 Pajarito No.78(約 3mm 厚用)
- レベリングローラー

## 工具洗浄方法

作業後直ちに水洗い

## 梱包

54 x 20kg 紙袋

## 備考

ここに上げられている事項は経験によるドイツ KIESEL で作られた技術データを基に訳しており、使用者の参考となることを目的としております。しかし、当社は個々の作業に携わることができません。その上、作業の環境を知ることも出来ないため使用者の作業の出来を保証することは出来ません。上記の理由により、作業をする前に必ず本資料及びラベルに書かれている内容を理解し、試し塗りを行ったうえで本作業を行うことをお勧めします。

10mm 以上のレベリング作業を本商品で行う際には、事前に作業方法について KIESEL にお尋ね下さい。